



初夏をよぶ小麦の花：光ファーム(ゆいの郷)



◎家具調オリジナルキッチン「KURIYA」。

トバス」と本格檜風呂「ほの香」。

◎木質を生かした「檜板貼りハーフユニットバス」と本格檜風呂「ほの香」。

◎自社生産による「自然塗料の床材」。

(くるいが少なく抜け節補修がない)

◎徹底した適期伐採と葉枯らしの「天然乾燥木材」。

◎アルミと天然木の複合サッシ「エピソード杉」。(ゴビソード杉の全開タイプも有)

これまで四季工房は他社にない数多くのユニークな部材や工法を開発してきました。私には、よくぞこれだけつくり上げたという自負もあります。そして、これらは他社と差別化する我が社の強みとなっています。その四季工房オリジナルと言われる商品をいくつかご紹介しましょう。



◎新卒の大工を育成し、今や若手大工が25名以上となり、手きざみ中心の伝統工法を継承している。

◎大工・左官・建具を中心とした職人の復権と地域循環型の家づくりをすすめている。

◎国産広葉樹の玄関ドアとオリジナル家具。また昨年は、リラクチュア&テーブルとオリジナルキッチン「KURIYA」はそれぞれ60台以上の受注があり、出荷が間に合わないほどのヒット商品となりました。しかし、誇るべきものはハードばかりではなくソフト面にも多くあります。

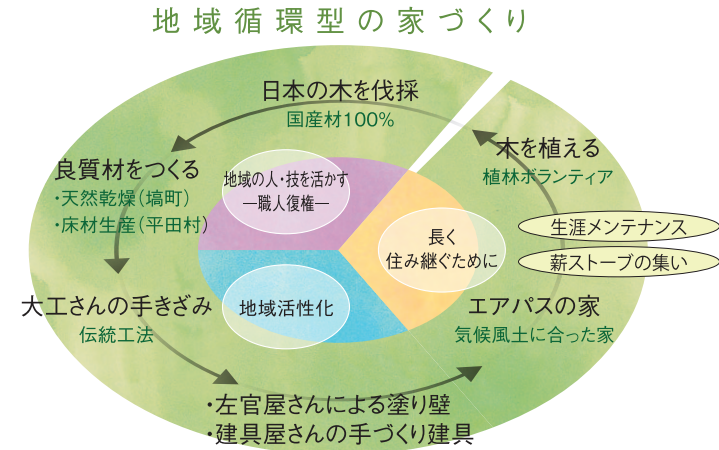
## 差別化のための商品開発より、確実に丁寧な仕事

——体施工を確立し、社員の自主性を育てる——

### 地域主義工務店の役割

(株)四季工房 代表取締役 野崎 進

◎徹底したアフターメンテナンスと「木の祭り」「感謝キャンペーン」など、施工後も施主との信頼関係を大切にしている。などが主となります。



### 四季工房のテーマ「体施工」

ようやく震災後のメンテナンスなどが落ち着いてきた今、これからの四季工房の課題について考えてみました。それは、業者さんとの「体施工」であり、これによって今まで以上に丁寧で確実な施工をすすめていくことです。

(次頁に続く)



## 親がまだ元気なうちに子にバトンを渡す。

——その伝統が子世帯の自立を促す、元気な村の源です——

福島県西白河郡 小室様

母屋に続き、今回は隠居(リフォーム)の工事を依頼いただきました。

西白河郡中島村代畑で石材店を営む小室さんをお訪ねしたのは5月の終わり。田植えを終えた田んぼが威勢のよい水音を立てていました。先代が石を切り出した山に抱かれるように広がっている敷地に15年前に出来た母屋と、完成に向けて急ピッチで建築中の隠居が仲良く並んでいました。両方とも四季工房による施工です。

「展示場を見て一目で気に入ったの。木を贅沢に使った昔の家の良さとモダンな造りとが上手く出来ていて、住んでみると夏は涼しく冬暖かい。満足して隠居もお願いすることにしました」とさよ子さん。隣



古材の梁が吹抜けに映える隠居のリビング。

母屋は8月に誕生するお孫さんを加え6人になっても十分な広さですが、隠居が完成したら精吉さん夫婦はそちらへ越します。しかし引退ではありません。ません。お二人とも現役の石職人、元気なうちに隠居して小室家のバトンを若夫婦に渡す為です。だから若夫婦にとって隠居の完成は本当の自立を意味する大切な節目でもあります。「不安はありません。



小室石材店3代目精吉さん・さよ子さん、4代目清和さん・絵理奈さん(8月出産予定)と孫の玲ちゃん。(母屋にて)

せんか?」と4代目清和さんへの問いに「うーん、家の掃除かな」と答え、た目には、既に大黒柱の決意がありました。

人口約6千人の中島村は元氣な村で有名だそうです。代畑集落は特に元氣、23世帯の殆どに隠居があります。「隠居は若者の完全独立を意味し、この辺りでは昔からの自然なこと。だからこの村はみんな元氣なんだよ」とさよ子さん。「村を出たい時もありました。しかし、(家も仕事も)受け継ぐ使命感の方が大きいです」と清和さん。みんなカッコいい!



仲良く並んだ、母屋(左)と隠居(右)

### 編集後記

オリンピック東京招致のためにロシアでスピーチした猪瀬都知事、そのパフォーマンスを御自身がご満悦らしい。テレビでその画面を見たが、先のイスタンブールへの失言もあるせいか何か空々しい気持ちになってしまふ。本誌の制作の為に小室さん、大野さん(京香)、阿部さん(光ファーム)にお話を聞いた。3人のリポートを終えた後清々しい思いが残って元氣が出た。心にとどまるのはパフォーマンスでなく、生き方そのものののだと改めて感じる事が出来ました。

制作スタッフも新たに、四季工房の今を伝える「おりじん」は年3回(6・10・2月)の発行を目標に頑張つて参ります。どうぞ愛読下さい。そして、感想などお寄せ下されば嬉しく思います。



(望月)





塗り壁体験のまわりには楽しそうな声が。

家は住み始めた時からがスタートです。住む人が愛着を持ち、手を入れたり簡単なメンテナンスをしたりすることで一層住み心地がよくなり、時と共に味わいが深まります。このように「手をかけて住み継いでいく楽しさ」を実感して頂くためにイベントでも会場に様々な「お手入れ講座」を設置しました。ここでは、OB様家族と社員や業者さんが「住まいへの想い」を共有しながら楽しそうに触れ合う様子

### 大好評のお手入れ講座。

ましたが、郡山本社212組537名、東京支店45組94名、宮城支店183組471名、栃木支店59組166名と全てのエリアとも大勢のOBさんが来場され、大盛況のうちに終わることが出来ました。特に郡山本社の2日目は、季節外れの雪に見舞われるなど予想外のこともありましたが、それにもかかわらず多くの方に足を運んで頂き、本当に嬉しく思いました。

### 我が社の核となるイベント 「木の祭り&感謝祭」。

東日本大震災のため中止を余儀なくされていましたが、この4月ようやく2年ぶりに復活することができました。社員一同この日を心待ちにし、準備を進めて参りました。

今年は開催を秋から春に、会場をゆいの郷から各エリアへと大きな変更もあり

## 木の祭り&感謝祭報告

懐かしい顔に再会できた喜びが力となり……。

### 2年振り「木の祭り&感謝祭」

「ご来場ありがとうございました！」

ましたが、郡山本社212組537名、東京支店45組94名、宮城支店183組471名、栃木支店59組166名と全てのエリアとも大勢のOBさんが来場され、大盛況のうちに終わることが出来ました。特に郡山本社の2日目は、季節外れの雪に見舞われるなど予想外のこともありましたが、それにもかかわらず多くの方に足を運んで頂き、本当に嬉しく思いました。



OBの皆様とのもちつきは大変盛り上がりしました。

### お客様

### 感謝キャンペーン

いよいよスタート

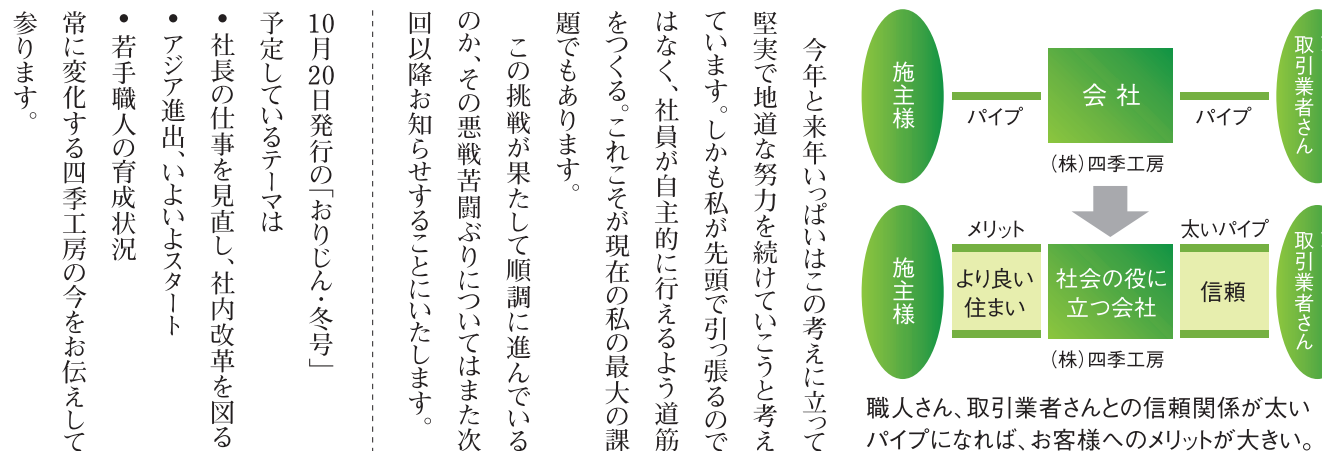
家を建てて下さった方々への感謝の気持ちと、「末永いお付き合いを」という願いを込めて毎年実施している「感謝キャンペーン」。

今年は、水まわりに使用した無垢材の塗装直しがイチオシです。四季工房が新たに採用した、無害で水に強い特殊ガラス塗料を塗布することで、自然の風合いを残しつつも傷や汚れが付きにくくなります。また排水口まわり、窓まわりなど、普段自分では掃除しにくい所のプロによるクリーニングも特別価格でご提供。汚れが気になつていたところが、びっくりするほどキレイになります。同封しましたご案内をご覧ください。お早めにお申込み下さい。



(前頁から続く)

もともと工務店は、会社と各施工業者・職人さんが致協力し、施主の為にによりよい建物をつくる努力をしていくことが本来の姿です。しかし現実には、我が社をはじめ殆どの工務店でそのような形になつていないのが実情です。顕著な例としては職人さんや取引先が会社や担当者に対して不満や愚痴を言うことです。(口に出さなくとも心に持っていることが多いのでは……)。しかも、その不満や愚痴は前向きな意見ではない場合が多いのです。もちろん会社側にも問題は少なからずありますから、それはそれとしてきちんと受け止めてはなりません。しかし、この意思疎通の悪さは施主にシワよせとなつて回り、徐々に不利益を及ぼすことにつながるのです。これは何としても解決していかなければならない問題です。



職人さん、取引業者さんとの信頼関係が太いパイプになれば、お客様へのメリットが大きい。

これからの主役は、君たちだ！  
未来の四季工房を担う、若きエースが続々登場。

夢を持つて仕事についている新入社員や若手業者さんをもっと応援していこう。そう願いながら、私たちは若手の育成により真剣に取り組み始めました。

### その1 「若手業者の会」では 沖縄懇親旅行を

当社で長年施工をして下さっている業者さんの中には、親の跡を継いで現場で活躍している2代目の若手職人さんが増えてきました。この若手を中心にして昨年発足したのが「若手の会」です。今年の2月に大工育成塾生と社長が加わり、2泊3日の沖縄懇親旅行に出かけました。



道中、社長から仕事への考え方や夢が熱くそしてウィットたつぷりに語られ、昼はゴルフと観光で、夜は美味しい郷土料理と泡盛を楽しみながら懇親を深めました。



### その2 親御さんも参加して 入社式を

新卒採用を再開して今年で6年が経ちました。しかし残念なことに、志半ばで辞めた人も少なくありません。そこで今年から新たな試みとして入社式には親御さんにも出席して頂くことにしました。式では、社長より自身の経験をもとに「仕事をしていると、目の前にいくつもの壁が立ち上がる、その時にふらふらと思つて逃げて(辞めて)いたらいつまでたっても一人前にはなれない」と。また親御さんには「お子さんが会社を辞めたいと言いつつ出した時は『自分が選んだ仕事なんだから、辞めないで最後まで全うしなさい。』と言つてほしい」とメッセージが伝えられました。



「若者を育てるには会社と親が一緒になつて」。この思いが若手社員の方々に通じるのか見守つていきたいと思ひます。





座の部屋を椅子の空間へリフォームした「月の間」。



アイロンの床柱と埋もれ木の違い棚。



雪見障子から庭園を楽しむ。

郡山に県内初の牛鍋屋「角海老」が出たのは1884年、それから130年の伝統を受け継いでいる屋号改め「京香」さんをお訪ねしました。味は勿論、雰囲気もおもてなしも素敵なお店です。

## 素材を生かした料理とプロに徹したおもてなし。四季工房の企業姿勢にも同じものを感じます。

四季工房が手がけた秀作店舗

時代を越える味とおもてなし  
すき焼き・しゃぶしゃぶ「京香」

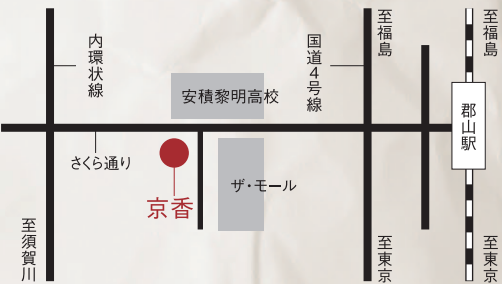
福島県郡山市長者一丁目

大野社長御夫妻が四季工房の職人の技と天然の木材を見そめて下さったのがリフォームの御縁のきっかけ。  
「年々、座卓よりテーブル席を希望するお客様が増えています」（大野社長談）。

ほかに磨き上げられた廊下、それぞれの個室（全8室）に合わせたお庭、爽やかな立居振舞いなど、至る所に徹底した信念と老舗ならではの伝統が感じられます。  
この日頂いたのはすき焼きのメニュー、「突出し3種」にまず感動。3つの味のコントラストが際立ち、切り方などに丁寧で細かい仕事ぶりが分かります。お肉は産地を限定せずその時の一番を仕入れているだけあって風味絶品。でもイチオシはご飯と3種のお漬物。ご飯は人数とタイミングを計算し部屋毎に土鍋で炊いているのです。お漬物の見事さは文章ではお伝え出来ないほどです。少量の酢を使ったと思われる胡瓜と茗荷の一品は恥をしの



前回改装した「月の間」はお客様から特に人気ということで、隣の「なでしこの間」も椅子席に。絶妙の高さで置かれたテーブルと椅子は琉球畳の心地よさと合わせ、二層寛ぎの空間となりました。



すき焼 しゃぶしゃぶ

京香

〒963-8017  
福島県郡山市長者1-3-20  
TEL.024-932-0220(代)  
◆定休日／毎週日曜日・祝日  
ご予約の上、ご来店下さい。

この記事を見てご来店された四季工房のお客様には、特別サービスとして、名物「女将漬け」をプレゼントいたします。

でもお替わりを頂きました(笑)  
「お客様に幸せな時間を過ごして頂きたいのです。そのためには味だけでなく全てに完璧を目指します。スタッフは黒子に徹しますが、おもてなしはプロでなければね」と女将の栄子さん。信念のある厳しさと優しい笑顔が魅力的でした。今度はお薦めの会席を頂きたいものです。だって「တဲ့おきの優しい食材でつくり上げた品々ですよ」と女将さんが仰るのです。  
原稿料が出たら食べに行きます。  
(原稿料は出るんですか、野崎社長！)  
(リポート／望月由美子)

「エアパス工法」冬の優れた効果が実証されました。

## 実験棟をリニューアルして新たな測定を開始しています。

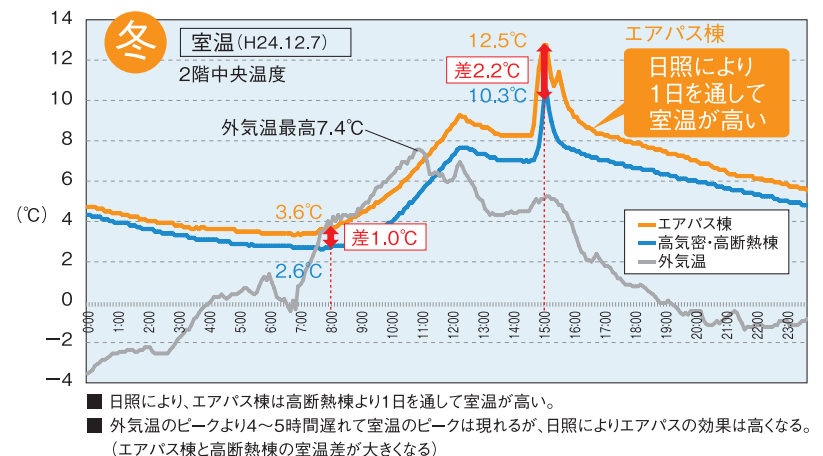
本紙前号にて、実験棟の測定結果から「エアパス工法は夏涼しく省エネである」という夏のエアパス工法の優れた効果についてご紹介しました。同じ実験棟にて冬の測定も行ったところ、エアパス工法は冬も優れた効果のあることが実証されました。

下のグラフは12月のものですが、エアパス棟は高断熱棟より1日を通して室温が高く暖かくなっています。最大2.2℃の室温差があり、エアパス工法の太陽熱を利用する「冬モード」が、室内の暖かさに大きく貢献していることが明らかになりました。

特に東北では、冬の暖かさは住み心地の重要な要素です。そこで窓から取り込む太陽熱を増やせば、より暖かい家にするのではと考え、今年は窓ガラスを変えて実測を行う予定です。一層冬暖かく、夏涼しいエアパス工法を追求し、九州大学の林教授の指導のもと引き続き研究して参ります。



実験棟(四季ゆいの郷)



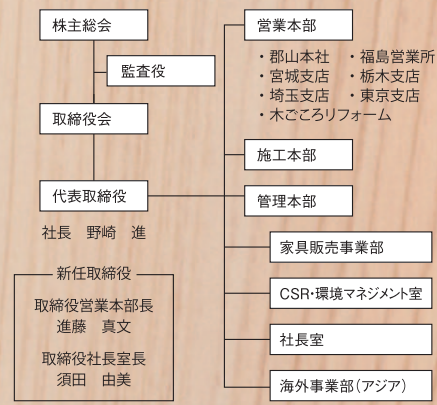
■ 日照により、エアパス棟は高断熱棟より1日を通して室温が高い。  
■ 外気温のピークより4～5時間遅れて室温のピークは現れるが、日照によりエアパスの効果は高くなる。(エアパス棟と高断熱棟の室温差が大きくなる)

## 新生・四季工房の幹部スタッフと拠点長

従来までの組織を一新して、今期から新体制で臨んでいます。「再チャレンジ年」を合言葉に、新任取締役と各支店の責任者である支店長が中心となつて、「自らが考えて責任ある行動をする」をモットーとした組織編成に致しました。

従来のトップダウンから脱却し、各責任者が本質的なリーダーシップを発揮する、ボトムアップの組織づくりに着手しております。

今回の組織改編をきっかけに、OBさんと、これから新しく家づくりをされる方々の為に、四季工房の良き企業理念を会社全体に浸透させ、お客様、協力業者さん、当社の三位一体のより良い関係を構築して参ります。



取締役営業本部長  
(宮城・東京支店長兼務)  
進藤 真文



取締役社長室長  
須田 由美

ハラハラ、ドキドキの四季工房、及ばずながら務めさせて頂く所存です。



郡山本社本店長  
長谷川 義一



栃木支店長  
阿部 厚

誠実な家づくりを続けて20年。常に新たな気持ちでチャレンジして参ります。

会社が大きく変わる節目に自分が乗り遅れないよう努力を続けます。



埼玉支店長  
木ごろりリフォーム部長兼務  
佐藤 正明



福島営業所長  
中塚 文彦

何歳になっても少年の様な好奇心を持ち続けたい。自分の仕事を誇りを感じます。

※次回は攻守にバランスがとれ、明るくなった取締役会の様子をお伝えします。





専用パンフレット  
がございます。お  
気軽に請求下  
さい。

四季工房は、東日本大震災で甚大な被害を受け自宅再建を目指されている方々を積極的に支援しようと、新「被災地支援プラン」をスタートしました。

優れた耐震性はもちろんですが、当社の「国産無垢材を使ったエアバス工法」による施工はそのままに、外構工事、家具、カーテンまで盛り込んだ特別なプランです。そして私どもが「戸建賃貸」の事業で培ってきた仕様をベースとした、自信を持ってお勧め出来る住宅です。

また、単世帯だけでなく二世帯にも対応できるプランも用意しました。もちろんOB様からご紹介頂いた方の相談にも応じます。2015年3月末までの限定です。お申込みはお早めどうぞ。



ホームページの感想・ご意見をお送り下さい。  
お待ちしております。

3月、弊社のホームページを全面的にリニューアルしました。

「四季工房の家づくり」「展示場のご案内」「お客様邸訪問」を柱として、特に注目頂きたいのは「本音語りコラム3題」です。このコラムは毎月更新しているページです。

まずは「お客様の声」。これはお客様から頂いたアンケートから、お叱りの声々とお喜びの声をそのまま掲載し、それに対する私達の対応もつけ加えています。

そして「四季工房の取り組み」「社長の動きを追う」では、社の取り組みと社長の動きを通じて四季工房の理念「四季工房イズム」をお伝えできるよう工夫しています。是非ご覧下さい。

## 4会場で開催！

第4回「節電しながら夏涼しく過ごすには？」  
●7/7(日) 東京 ●7/13(土) 郡山 ●7/14(日) 宮城

第5回「再考！木造住宅の強さと魅力」  
●9/1(日) 栃木 ●9/14(土) 東京  
●9/21(土) 宮城 ●9/29(日) 郡山

第6回「住み心地は何で決まる？」  
—満足できる間取りとエアバス工法—  
●10/6(日) 東京 ●10/13(日) 栃木  
●11/3(日) 宮城 ●11/10(日) 郡山

テーマは変わることがありますので事前にご確認下さい。



## 「人と環境にやさしい家づくり」 セミナーのご案内。

間取り、工法、耐震性、使用している素材、省エネの工夫など、家づくりの前に是非知ってほしいことを学べる「人と環境にやさしい家づくりセミナー」。嬉しいことに毎回「参加してよかった！」というお声を多数頂いています。ここでは11月までの案内を掲載しましたが、このセミナーは弊社が長く大切に育ててきたものですので、今後も継続して開催していきます。また、お客様からのアンケートをもとに毎回異なるテーマを工夫しています。これから家づくりを考えている方々にお勧めです。



風の香  
fuu café  
営業時間／AM11:00～PM6:00  
(ラストオーダーPM5:30)  
定休日／毎週火・水曜日  
TEL.024-937-6351 (本社経由)



皆様にご愛顧いただき、「Fuu Café」もおかげさまで1周年。今の季節は、青々と茂った木々や色鮮やかに咲き乱れる花々が窓から楽しめ、Caféの空間をいっそう豊かにしています。「ゆつたりできる」とリピーターの方もさらに増えてきました。夏に向けて新メニュー「ポークジンジャー」「シーフードパスタ」を加えました。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

おかげさまで「1周年」  
Fuu Café

## 光ファーム通信

ゆいの郷の農業が  
復活しました

蓬田岳の爽やかな風を受けて元氣杯のジャガイモが来月の収穫を待っています。別の畑ではトウモロコシ、その数なんと4千本！いよいよ震災でお休みしていたゆいの郷「光ファーム」の復活です。責任者の阿部正明さんに案内して頂きました。

望月 畑がだいぶ増えているようですが？

阿部 今年の作付は3畝(9千坪)。今までの約2.5倍になりました。最終的には10畝まで増やすのが目標です。人手や機械の問題、何についても採算の問題など課題は多くあります。



望月 トウモロコシも無農薬なんですね。

阿部 有機無農薬法ですから虫にもやられます。光合成菌(につぼん菌太郎)を使う方針は変わっていません。そうやって育てたトウモロコシは甘さが格別ですよ。

望月 じゅうねん(えこま)もありますね。

子供の頃これを擦った汁(冷やダレ)で麺を食べた記憶があります。

阿部 「じゅうねん汁」。平田の懐かしい味ですね。小麦の出来もいいので、地元製の製麺所で打った自家製麺が食べられます。ほかにヘルシーな「えこまオイル」も絞りました。

望月 放射能の影響はどうですか？

阿部 平田はもともと放射線量の低い地域ですが万全を期して、「ゼオライト」を撒きました。ゼオライトは放射能を吸着する、天然の石を砕いた100%自然鉱石です。

望月 加工場の仕事との両立は大変では？



光ファームのメンバーと阿部正明さん(右から3番目)

まもなく

## 体験宿泊が再開!!

築13年の「星の家」が  
手をかけることでよみがえりました。

ゆいの郷では、震災後お休みしていた体験宿泊を再開する準備をすすめています。

それに伴い、体感宿泊棟「星の家」をリフォームしました。オリジナルキッチン「KURITA」や、ベンチソファなど、四季工房が提案する最新の暮らしのスタイルをとり入れました。

磨き上げられた無垢の床、しつこいの壁。本物の素材を使っている家は、手をかけることで見事によみがえりました。本物の木の家は「愛着を持って長く住み継いでいける」ことを実感して頂けます。

「見学は随時受け付けております。これから家づくりをお考えの方、ぜひ見学からスタートしてみては。」

阿部 春から秋は農業がメイン。冬期間は加工場の仕事メインと自分の中で区分けしています。引き受けたからには必ず成功させます。農業の面白さは土づくりです。どんな作物も土さえしっかりしていれば、素晴らしく味が良くなり、人間の体を健康にしてくれるのです。

望月 元氣な夏野菜が楽しみです。ありがとうございます。

(レポート／望月由美子)



農業体験を希望する方を受け付けております。収穫時期なども合わせてゆいの郷に直接お問い合わせ下さい。夏野菜に加えクレソンやみょうがも美味しいですよ。

四季ゆいの郷 TEL 0247-55-3169  
(担当／加工場・矢吹)

